



琴高ふれあい ダイアリー

Kotoko Friendship Diary 2015

 香川県立琴平高等学校

〒766-0002 香川県仲多度郡琴平町142番地2

TEL.0877-73-2261

FAX.0877-73-3242

mail.kohtoh02@kagawa-edu.jp

<http://www.kagawa-edu.jp/kohtoh01/>

琴高ふれあいダイヤリー

Kotoko Friendship Diary 2015

※●の中の数字は右ページのMAPと連動しています。

琴平町・まんのう町MAP

4月-8月

- ①れんげ畠祭り
- ②金刀比羅宮踊り奉納
- ③体育祭(幼稚園児の参加)
- ④幼稚園訪問
- ⑤ふれあいデーへの参加
- ⑥七夕まつりへの参加
- ⑦校外実習(仲南荘、満濃荘)
- ⑧ゆうゆうクラブへの参加
- ⑨まんのうフェスティバル

P02

P03

9月-11月

- ①琴平南幼稚園運動会への参加
- ②琴平小学校運動会への参加
- ③琴平ふれあいコンサートでの司会
- ④ガアリック娘コンテスト
- ⑤金刀比羅宮例大祭(奉幣共進の儀)
- ⑥金刀比羅宮例大祭踊り奉納
- ⑦琴平町市民体育祭の運営ボランティア
- ⑧商店街の提灯の清掃
- ⑨小学校での読み聞かせ

P05

11月-12月

- ①社会福祉協議会でのレクリエーション
- ②チャリティーバザーへの参加
- ③クリスマス会でのボランティア
- ④異種武道大会
- ⑤地域での書道パフォーマンス
- ⑥満濃池健康マラソン大会
- ⑦琴平高校クリーンアップ大作戦

P07

1月-2月

- ①琴平高校芸術祭 in ACTことひら
写真展、書道展、家庭展、美術展、茶華道展、吹奏楽コンサート
- ②琴平町文化会館での演奏
- 地域の小中学生との合同練習・合同稽古
野球教室、こんぴら子供塾、スーパー讃岐っ子育成事業、合同稽古会
- ③森のコンサートでの司会

P09

琴高ボランティア

- 正調こんぴら船船
- とらすとK

P11

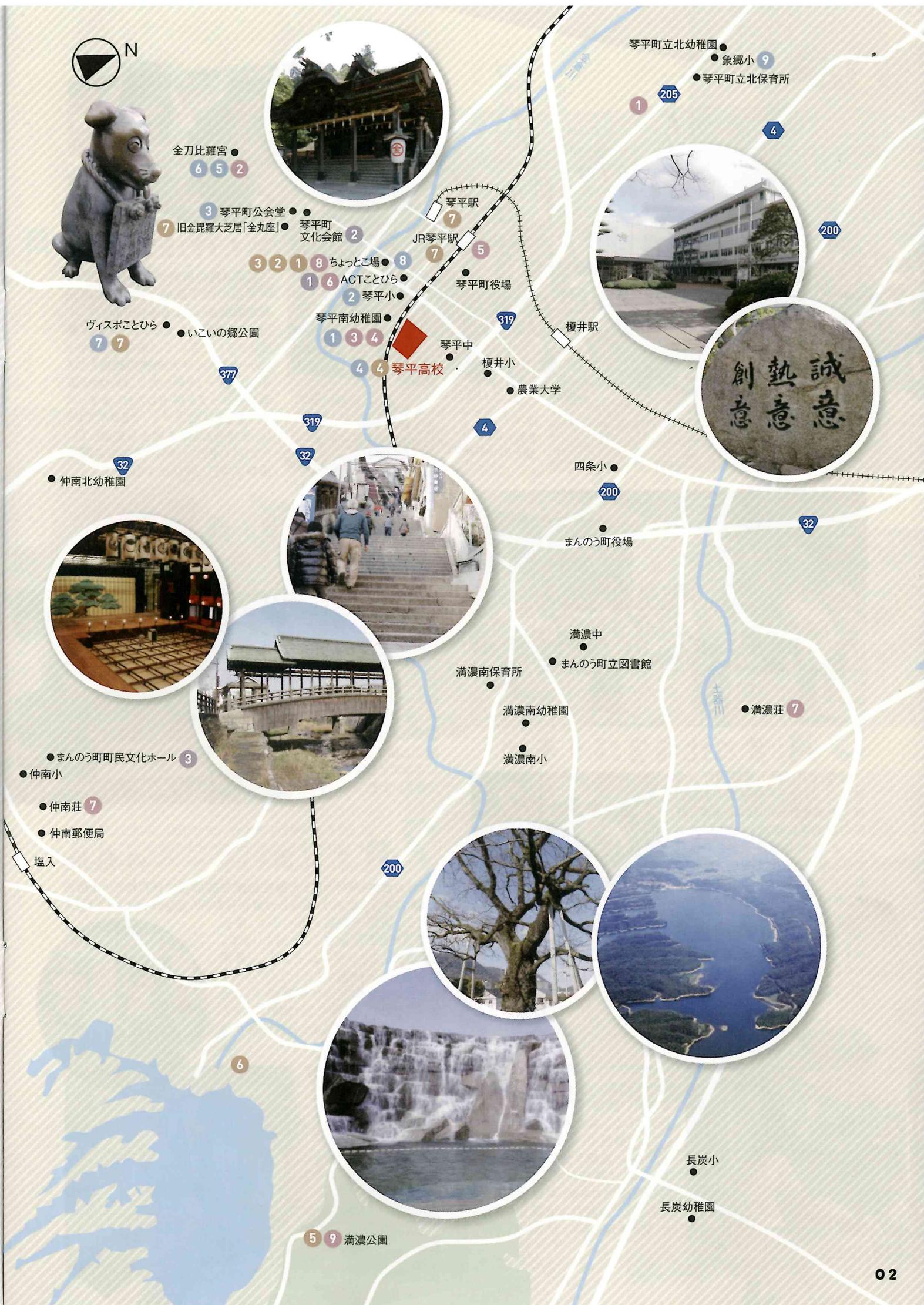
地域で活躍する卒業生

P12

琴平高校への応援メッセージ

- 琴平町社会福祉協議会
- 南幼稚園園長
- 地域おこし協力隊
- 琴平町長
- まんのう町長
- 琴平高等学校校長

P13



4月-8月



れんげ畠祭り 4月

毎年4月の最終日の日曜日に、琴平町苗田の山下農場で開かれる地元有志の皆さんによる手作りのイベント「れんげ畠祭り」に、とらすとKが毎年参加させていただいています。「メッセージカード」とれんげ大明神の絵馬をつくるコーナーを開いたり、わいわい広場のスタッフを担当したりします。ステージ企画「防災チェック&クイズ」では、参加者の皆さん同士も交流していただき「いざという時に役立つ人間関係づくりを!」と呼びかけています。



5月 金刀比羅宮踊り奉納

毎年、5月に郷土芸能同好会の発展と、これから一年で行われる公演の無事を祈って、踊りと演奏を琴平の御本宮に奉納させていただいている。昨年は雨天のため残念ながら中止となりましたが、うって変わって今年は抜けるような五月晴れ。参拝されている多くのお客様たちのあたかい手拍子の中、緊張しながら演技をしました。踊りが終わると拍手喝采。ほっと胸をなでおろし、今年一年も精一杯活動することを部員一同心に誓いました。



生徒の感想
最高の天気の中、全力で踊ることができました。みなさんに喜んでいただけてよかったです。

体育祭(幼稚園児の参加)

体育祭に、琴平町立南幼稚園の園児を招待しました。園児と一緒にふれあい競技「電車でGO!GO!」を行いました。本校生が毎年楽しみにしている競技で、今年は80名の生徒が参加し、家庭クラブ役員の運営により、楽しく競技ができました。競技の後に園児たちは、高校生のリレーを応援し、高校生とお話しをするなど、交流を深めることができました。



7月 七夕まつりへの参加

毎年7月に社会福祉協議会が主催する七夕祭りに、吹奏楽部がボランティアとして参加しています。幼稚園～小学生くらいの子供たちとゲームやクイズなどをして交流しています。今年はアニメの主題歌などを中心に何曲か演奏し、子供たちにたいへん好評でした。このように、地域でのボランティアや演奏活動が多いのが、吹奏楽部の特徴でもあります。

生徒の感想

演奏中、子どもたちが手拍子してくれたりして、とてもうれしかったです。楽しそうな子供たちの姿がとても印象的でした。



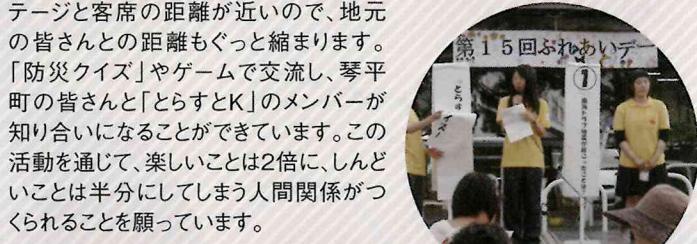
幼稚園訪問 6月

2年生「子どもの発達と保育」の授業選択者が、琴平町立南幼稚園で保育実習を行っています。園児たちと実習の日までにパソコン通信ソフトSkypeを使って交流をしており、毎年実習が楽しみで仕方ありません。生徒一人ひとりが課題を持って取り組み、園児と接することでいろいろなことを学ぶことができています。



7月 ふれあいデーへの参加

7月の夕方、琴平町社会福祉協議会前広場で行われている歌あり、踊りあり、演武あり、美味しい屋台もあり!の楽しいイベントです。ステージと客席の距離が近いので、地元の皆さんとの距離もぐっと縮まります。「防災クイズ」やゲームで交流し、琴平町の皆さんと「とらすとK」のメンバーが知り合いになることができます。この活動を通じて、楽しいことは2倍に、しあわせなことは半分にしてしまう人間関係がつくられることを願っています。



生徒の感想
最高の天気の中、全力で踊ることができました。みなさんに喜んでいただけてよかったです。

7月 七夕まつりへの参加

毎年7月に社会福祉協議会が主催する七夕祭りに、吹奏楽部がボランティアとして参加しています。幼稚園～小学生くらいの子供たちとゲームやクイズなどをして交流しています。今年はアニメの主題歌などを中心に何曲か演奏し、子供たちにたいへん好評でした。このように、地域でのボランティアや演奏活動が多いのが、吹奏楽部の特徴でもあります。

生徒の感想

演奏中、子どもたちが手拍子してくれたりして、とてもうれしかったです。楽しそうな子供たちの姿がとても印象的でした。



まんのうフェスティバル(なぎなた部)

なぎなた部は、8月初旬に行われる「まんのうフェスティバル」で、地元のスポーツ少年団の小中学生とリズムなぎなたを行っています。音楽に合わせて流れるような動きと迫力ある演技を披露し、公演のたびに集まった地元の方々から温かい声援をいただいています。



生徒の感想

今回、まんのうフェスティバルを通して地域の人たちにリズムなぎなたを披露することができてよかったです。当日は緊張もありましたが、練習の成果を出し切り、息の合った演技をすることができました。

こんぴら夏まつり

7月下旬。こんぴらを彩る夏の大イベント。音楽コンサート、屋台、バザーなど多彩なイベントが開催され、こんぴらの街が盛り上がります。



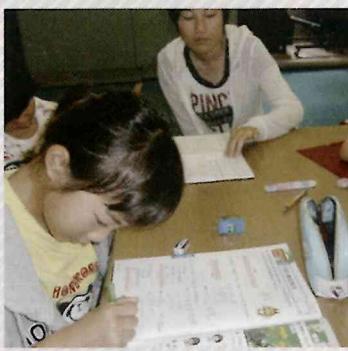
まんのうフェスティバル

8月上旬。祓川河川敷公園にて、花火大会の他、讃岐まんのう太鼓の演奏、盆踊り大会等各種イベントを開催。



国営讃岐まんのう公園

日本最大のため池「満濃池」に隣接した、四国で唯一の国営公園。毎年開催される野外ロックフェスティバルは四国最大級の夏フェス。



9月-11月

9月

琴平南幼稚園運動会への参加

琴平町立南幼稚園の運動会へ本校生が有志のボランティアで参加しています。今年は13名が参加し、競技に使用する跳び箱等の準備や、園児の衣装の着替えの手伝いを行いました。また、園児と一緒に綱引き競技に参加しました。中には将来の進路を見据えて参加する生徒もあり、とても貴重な体験となっています。

生徒の感想

将来、幼稚園の先生になりたいと考えています。運動会は先生方のご指導や保護者のみなさんの関わりがあって成立していることがよく分かりました。



琴平ふれあいコンサートでの司会

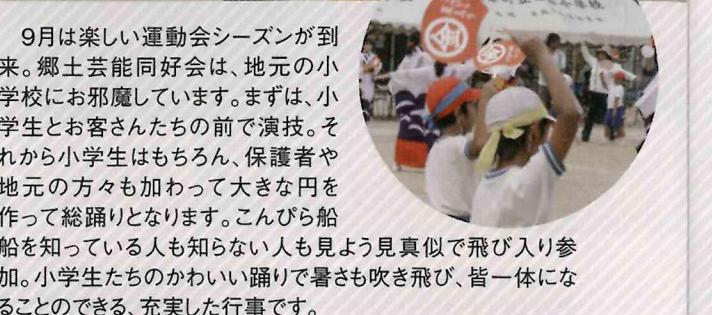
9月下旬、琴平町公会堂で行われる「琴平ふれあいコンサート」にて放送部の生徒が、司会をさせていただいています。平成27年度は9月27日(日)に行われました。音楽が好きなグループが集まってコンサートを開こうということになったそうです。毎年、本校生のバンドも出演しています。手作りのコンサートで本当に温かい和気あいあいとした雰囲気の中で、時間を気にすることなく音楽を楽しむことができます。会場である琴平公会堂がとても素敵などころで、琴平町がこの場所をもっとアピールしてほしいなあと思います。一緒に音楽を楽しみながら司会をすることができています。



琴平小学校運動会への参加



9月は楽しい運動会シーズンが到来。郷土芸能同好会は、地元の小学校にお邪魔しています。まずは、小学生とお客様たちの前で演技。それから小学生はもちろん、保護者や地元の方々も加わって大きな円を作り、総踊りとなります。こんびら船を知っている人も知らない人も見よう見まねで飛び入り参加。小学生たちのかわいい踊りで暑さも吹き飛び、皆一体になることのできる、充実した行事です。



10月 ガーリック娘コンテスト

琴平町には特産こんびらにくを使用したガーリックオイル「ガーリック娘」があります。3年生の授業「生活科学」選択者は、夏休みに、この「ガーリック娘」を使った料理を考案し、琴平町社会福祉協議会主催の料理コンクールに出場しています。コンクールでは、自分で考案したものを実際に調理し、そのアイディアと腕を競い合います。何度も練習して本番に挑み、いろんな方々からご意見を聞いたりしながら刺激を受けています。



金刀比羅宮例大祭(奉幣共進の儀)

10月初旬行われている金刀比羅宮の氏子祭りにおいて、奉納する御神饌の運搬を行っています。平成27年は剣道部と野球部が行いました。特別な装束をまとめて、神妙な緊張感の中で金刀比羅宮本宮まで御神饌を運びました。今後も地域の方々に少しでも貢献できるよう稽古や学校生活に努めています。

生徒の感想

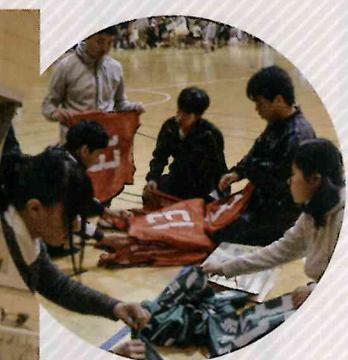
体力的にも精神的にも大変な仕事でしたが、伝統ある氏子祭りの力になれてうれしく思います。

10月 金刀比羅宮
例大祭
踊り奉納

鉦(かね)と太鼓のリズム、ちょうさを担ぐ掛け声が聞こえると、金刀比羅宮の数ある祭典の中でも最も厳肅な祭典、例大祭の季節です。この祭りの間は、奉納イベントが開催され、本校の郷土芸能同好会も公演を行います。屋台からは香ばしい香りが漂い、神事場周辺を懐かしい空気が包みます。たくさんご家族が見に来てくれるのも、地元ならでは。あたたかい声援の中、初舞台に臨む1年生とともに、踊りを奉納します。



11月 琴平町民体育祭の運営ボランティア



本校生徒会を中心となり、競技のお手伝いや後片付けを行っています。今年は11月1日(日)、場所は「ヴィスピことひら」のメインアリーナで行われました。幼児からお年寄りまで、地域の方が楽しみにされているイベントです。琴平町内から30以上の団体が参加し、綱引きや玉入れなどの体育祭おなじみのスポーツに加えて、サイコロや輪投げなどをを使ったニュースポーツなどを行います。

商店街の提灯の清掃

金刀比羅宮の例大祭を前に、野球部が琴平町の新町西商店街に飾られている提灯の清掃を行っています。商店街も高齢化が進んでおり、高いところにある提灯の清掃が難しくなってきたところ、数年前から野球部に依頼がありました。今では、毎年の恒例行事の一つとなっています。一年間の汚れを落とし、商店街の方々には大変喜んでいただきました。

生徒の感想

喜んでもらえて本当によかったです。いつも野球部の応援もしていたので、試合に勝って声援だしているので、試合に勝って声援だしたいと思います。



小学校での読み聞かせ

象郷小学校で読書週間に行われる「読み聞かせ」に演劇部が参加し、絵本の読み聞かせを行っています。全校児童を前に読み聞かせをするのは、緊張しますが、皆とても真剣に聞いてくれます。本を読むことの楽しさを小学生たちとともに感じられる、読書の秋の行事です。



生徒の感想
小学生たちはとても元気で、絵本を読むと素直に反応してくれるのがうれしかったです。よい経験になりました。

琴平ふれあいコンサート



9月下旬、琴平町公会堂で行われる音楽イベント。音楽好きたちが集まって演奏を披露しています。

金刀比羅宮例大祭



毎年10月9日～11日。金刀比羅宮の数ある祭典の中でも最も厳肅な祭典。御神幸の歴史は古く、江戸時代以前より今に続いているといわれています。

こんびら石段マラソン



毎年10月上旬の日曜日。金刀比羅宮の石段を登る健脚大会。参加者全員黄色いTシャツを着て御本宮まで目指します。

11月-12月

11月 社会福祉協議会でのレクリエーション

3年生健康福祉コースの生徒は「生活と福祉」という授業の一環で、年に2回、琴平町社会福祉協議会のえんがわクラブのみなさんと交流しています。皆さんに楽しんでいただけるように、自己紹介の仕方を工夫したり、レクリエーションを考えたり、季節に合わせたプレゼントを手作りしたりもしています。高齢者の皆さんとの交流の時間を楽しみに、準備や練習に力が入ります。



チャリティーバザーへの参加

12月初旬には琴平町社会福祉協議会が主催するチャリティーバザーに野球部が参加しています。今年は12月5日(土)6日(日)に行われ、生徒たちは各店舗の販売を任せ、慣れない手つきながら、商品や代金の受け渡しを行いました。そのほか、毎年恒例の杵とうすを用いたもちつきの実演販売があり、生徒も一緒にもちつきをしました。力強くついた出来立ての餅は大盛況でした。



生徒の感想

もちを何度もついている
と、杵がだんだんと重くな
って大変でしたが、お
客さんに喜んでもらえて
よかったです。

12月 クリスマス会でのボランティア

毎年12月に社会福祉協議会が主催するクリスマス会に、吹奏楽部が毎年ボランティアとして参加しています。地元の幼稚園児や小学生たちとゲームやクイズ、bingo大会などを交流しています。年によってはコンサートを開くこともあります。サンタの格好をした生徒がお菓子を配ると、子供たちはとても喜んでくれます。幼稚園児・小学生たちの無邪気さ、純粋さに、生徒たちの方が元気づけられている気がします。

生徒の感想

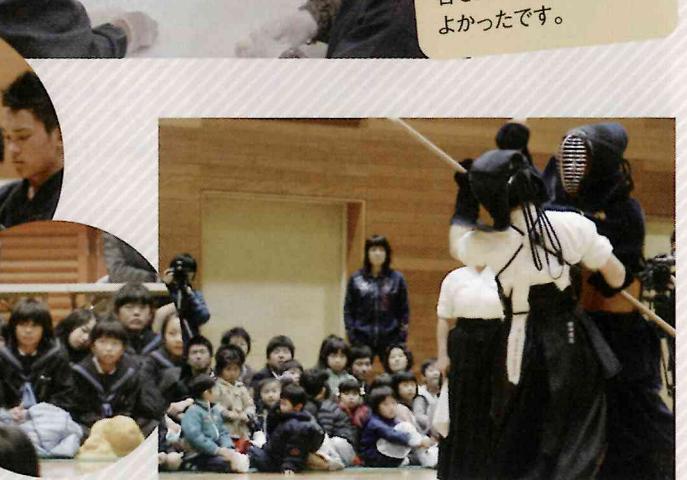
3年生は最後の試合だったので、勝つことができて嬉しいです。良い思い出になりました。



異種武道大会

平成二十七年度 異種武道大会

本校の恒例行事、異種武道大会にて、地域の方々や、琴平南幼稚園や琴平小学校の児童・生徒たちを招待しています。今年度の大会は剣道部が四国総体で準優勝、なぎなた部はインターハイ、国体で全国優勝をおさめており、レベルの高い両部の試合に今年も大きな注目が集まりました。なぎなた部は、通常の剣道のルールにはない「すね」への攻撃を有効に使い、対する剣道部は「二刀流」などの戦法で会場を湧かせました。観戦した地域の方々や小学生や幼稚園の皆さんは両部の繰り広げる激しい試合を食い入るように見つめています。



地域での書道パフォーマンス

書道部は、様々なイベントに参加し、書道パフォーマンスを披露しています。12月には国営まんのう公園の「ウインターファンタジー」というイベントで書道パフォーマンスを披露しました。普段は明るい日中に演技をすることが多いのですが、イルミネーションやライトアップで飾られる幻想的な雰囲気の中、いつもとは一味違ったパフォーマンスを披露することができました。



生徒の感想

書道パフォーマンスを通して、地域の方々と
楽しく交流ができます。今後も良い作品
ができるように頑張ります。



満濃池健康マラソン大会

こんびらライオンズクラブ主催、満濃池健康マラソン大会。美しい景色の満濃池周回コースを舞台のこの大会も今年で第7回目となりました。本校からは、毎回サッカー部、野球部、なぎなた部、バドミントン部、バーボール部、テニス部、山岳部などが参加し、一緒に走るだけでなく、明るい応援で大会を盛り上げています。また大会の運営スタッフとしても毎回有志のボランティアが参加しています。

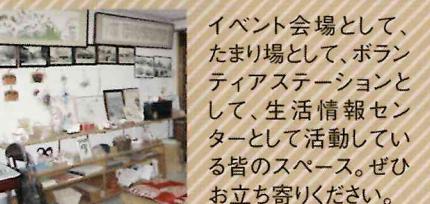


琴平高校クリーンアップ大作戦

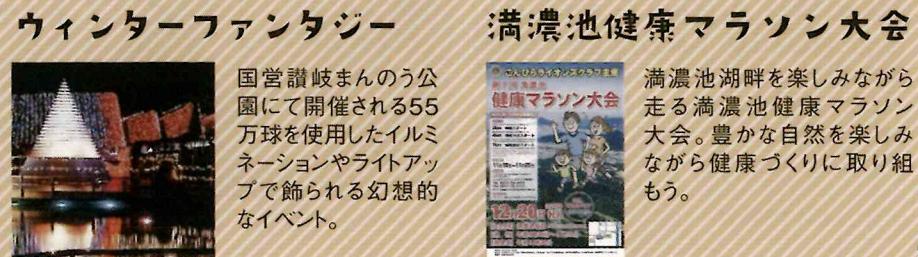
観光地こんびらさんとその地域を愛し、文化遺産を守り、地域社会に貢献する気持ちを育むことを目的として、「クリーンアップ大作戦」という清掃奉仕活動を平成19年から行っています。清掃場所は琴平駅、高燈籠(たかとうろう)、公会堂(こうかいどう)や県立琴平公園、いこいの郷公園です。場所によつては落ち葉がたくさんあり大変ですが、お正月にはたくさんの参拝客が訪れるので、参拝される方にきれいなこんびらさんを楽しんでいただけるよう、一生懸命清掃活動に取り組んでいます。この「クリーンアップ大作戦」は琴平町の環境衛生課の援助のおかげで活動できています。清掃道具を貸していただきおり、ゴミ袋を200枚以上もいただいている。またその日のうちにゴミ袋を回収してもらうなど、琴平町には大変お世話になっています。



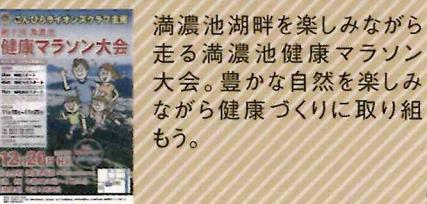
ちょっとこ場



ウインターファンタジー



満濃池健康マラソン大会



1月-2月



書道展

書道部は毎年、書道展を開催しています。会場のACTことひらは学校の教室よりも広く、1年生から3年生まで含めた、たくさんの作品を展示することができます。学外での展示はめったにできない経験で、搬入出や展示作業はとても大変ですが、文化祭とは違った独特的の緊張感をもって制作に励めています。少しでも良い作品を制作し、書道の魅力を地域の方々に伝えていければと思っています。



家庭展

毎年、家庭部員の作品と、健康福祉コースの生徒や「子どもの発達と保育」「服飾手芸」の授業選択者の作品を展示しています。自分が作った作品をさまざまな年齢層の方々に見ていただき、ご意見をいただけるのは本当にうれしく、励みになっています。



生徒の感想

作品を作るのも楽しいと思いますが、作り上げた作品を自分たちの手で協力して展示できるのもよい経験だと思っています。

写真展

写真部も琴平高校芸術祭に参加しています。今年は20作品以上出品しました。休日には生徒たち自身で、ACTことひらの受付係を分担し、最初はぎこちない挨拶だったものの、地域の方から写真のアドバイスをいただいたり、どのような気持ちで撮った写真なのかを説明したりしながら、交流を深めることができます。

生徒の感想

秋から写真展が続くので、作品を選ぶのが大変でしたが、受付に行くと見に来られた方から直接アドバイスをいただけることがあって、勉強になりました。他の部活と協力してできるので楽しかったです。

琴平高校 芸術祭 in ACTことひら 1月



美術展



茶華道展

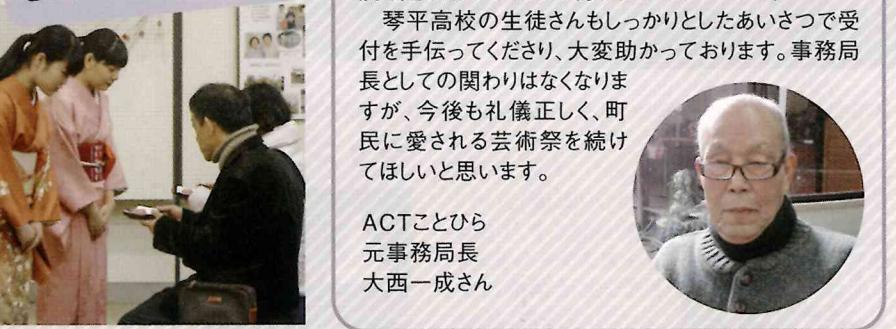
茶華道部は、琴平高校芸術祭において、お茶席と華道展を行っています。着物を着てのお点前や多くの花材を使っての作品作りなど普段の練習とは違う所もあり大変ですが、練習の成果を皆さんに見もらえる貴重な機会となっています。何より来場者の方に、お点前やお花の感想を直接言っていただけるのが励みになっています。

生徒の感想

3年生にとっては、琴高芸術祭が茶華道部での活動の集大成を披露できる場所です。今回も部員全員で協力して無事に終えることができました。地域の方達、「きれいに活けられていました」、「お点前がしっかりしているね」、「お点前がしっかりできているね」と褒められ、とても嬉しかったです。

琴平高校の生徒さんもしっかりとしたあいさつで受付を手伝ってください、大変助かっております。事務局長としての関わりはなくなりますが、今後も礼儀正しく、町民に愛される芸術祭を続けてほしいと思います。

ACTことひら
元事務局長
大西一成さん



1月

琴平高校芸術祭では、美術部員の作品、授業で制作した美術選択者の作品を中心に展示を行っています。美術部員にとって、自分の作品を多くの方に見ていただける機会を設けることはとても大切なことです。その作品の展示作業を自らが行い、見ていただいた方から直接お話を聞ける場面があることは、制作者としてとても良いことだと感じながら、取り組んでいます。

茶華道展

茶華道部は、琴平高校芸術祭において、お茶席と華道展を行っています。着物を着てのお点前や多くの花材を使っての作品作りなど普段の練習とは違う所もあり大変ですが、練習の成果を皆さんに見もらえる貴重な機会となっています。何より来場者の方に、お点前やお花の感想を直接言っていただけるのが励みになっています。

琴平高校の生徒さんもしっかりとしたあいさつで受付を手伝ってください、大変助かっております。事務局長としての関わりはなくなりますが、今後も礼儀正しく、町民に愛される芸術祭を続けてほしいと思います。

ACTことひら
元事務局長
大西一成さん



吹奏楽コンサート

吹奏楽部は会場のACTことひらで演奏会を開催しています。地域商店街の一角での演奏とあって、毎年地域の方々や琴平高校の生徒など多くの方々が見に来られます。この演奏会は演奏者と観客の方々との距離が非常に近く、また琴高生の芸術作品に囲まれて演奏するので、他の演奏会よりもアットホームで和やかな雰囲気に包まれます。



2月 琴平町文化会館での演奏

毎年、琴平高校芸術祭の一環で、琴平町文化会館にて演奏会を行っています。このような大きな会場を借りての演奏はそう何度もできないので、部のレベルアップにも欠かせない演奏会です。演奏後に、琴平高校となじみの深い女性の方からお手紙を頂いたこともあります。生徒にとっても、誰かのために演奏することの楽しさを再発見する良い機会になっています。



生徒の感想

毎年多くの方々にお越し、いただいて大変うれしいです。これからも皆さんに喜んでいただけるような演奏を目指して頑張ります!

森のコンサートでの司会

毎年2月第2日曜日、まんのう町民文化ホールで開催される「森のコンサート《楽しい音楽会》」にて、放送部が司会をさせて頂いています。これは町民が本格的な音楽に触れる機会を作り、文化的な時間を過ごすことを目的としたコンサートです。《楽しい音楽会》という名前は「森のコンサート」の前夜祭ともいえるもので、町民が参加し、日頃の成果を発表する場となっています。手作りのコンサートで和気あいあいとした雰囲気の中で、時にはアドリブを交えて、音楽を楽しみながら司会をすることができ、放送部の生徒にとっても貴重な経験となっています。



地域の小中学生との 合同練習・合同稽古



野球教室

スポーツ少年団野球チームに、琴平町・まんのう町から1チームずつ参加してもらい、野球教室を実施いたしました。守備やバッティングを中心に、小学生を相手に普段培っている技を伝授しました。高校生顔負けのスイングを見せる選手もあり、生徒の指導にも熱が入っていました。今年度内に、同じく琴平町・まんのう町からチームを招いて、野球教室を実施する予定です。



こんぴら子供塾

サッカー部では、学期ごとに2回、夏休み冬休みに1回ずつ、琴平町の琴平小学校、榎井小学校、象郷小学校などで小学生のみんなと一緒にボールを使って楽しく遊びながらサッカーに触れてもらっています。毎回2時間程度ですが、ついで夢中になってかわいい妹や、やんちゃな弟ができるような気持ちになります。また、遊ぼうね!



スーパー讃岐っ子育成事業

なぎなた部は、スーパー讃岐っ子育成事業のサポートとして、地元の小学生になぎなたを教えています。なぎなたという競技に初めて出会う子どもたちに、なぎなたの楽しさを知ってもらえるよう、部員たち自身も楽しみながら教えました。生徒たちは子どもへの声かけの仕方を考える中で、自分の技術を見直すことができるだけでなく、地元の子供たちとの信頼関係を築くことができました。



合同稽古会

剣道部は毎月一回、地域交流事業として中学生との合同稽古会を実施しています。例年、地元の琴平中をはじめ、満濃中、善通寺西中、善通寺東中、宇多津中などの生徒が参加しています。また、夏と冬には中学生の強化合宿にも参加しており、稽古を通してお互いに刺激を受け、高め合う絶好の機会となっています。この稽古会を通して、地域に少しでも恩返しができればと考えております。

ACTことひら



元々銀行だった建物を利用して、琴平町立ギャラリーとして各種展示やイベントを行っています。

森のコンサート《楽しい音楽会》

まんのう町民文化ホールにて毎年2月に開催。音楽隊の演奏や合唱、町民の方々の絵画の展示などもあります。

旧金毘羅大芝居「金丸座」

天保6年(1835)に建てられた現存する日本最古の芝居小屋。毎年4月に「四国こんびら歌舞伎大芝居」が開催されます。

琴高ボランティア



正調こんぴら船船

毎週月水金の3日間、教室から賑やかな掛け声が聞こえると、郷土芸能同好会の練習が始まります。普段は、踊り・唄・三味線／太鼓のパートごとに分かれ、和気あいあいと練習に励んでいますが公演が近付くと一転、隊形づくりや合同練習など、忙しくなります。どの生徒も未経験者ですが、皆一生懸命。お互いにアドバイスし合いながら、本番に備えます。

昔は芸者さんたちによく唄われていたこんぴら船船ですが、時代とともに廃れていき、現在琴平町で日常的に練習しているのは残念ながら琴平高校の郷土芸能同好会だけとなりました。踊りは高松からお嬉しいだく先生や琴平町の保存会の先生に、手とり足とり教えていただき、三味線も専門の先生に教えていただいている。また、三味線や太鼓の調子が悪いときは、専門の楽器屋さんが丁寧に修繕してください。



さり、糸が切れた時の為、替え三味線を持っていつでも交換できるよう、公演の間スタンバイしていただけます。本当に多くの人々に支えられて成り立っている同好会です。

今年は全国大会にも参加しましたが、普段は地域に密着したイベントに参加します。5月の金刀比羅宮踊り奉納が行われ、参拝客のみなさんのあたたかい拍手の中、一年間精一杯活動することを部員一同に誓います。9月には、琴平小学校運動会への参加し、可愛い小学生たちと暑さも忘れて踊ります。10月には例大祭の奉納イベントに参加します。たくさんの家族が見に来てくれるのも地元ならでは。今後も地域の人々とふれあい、琴平に根ざした活動を続けていきます。

とらすとK

○とらすとKって何？

阪神・淡路大震災から10年目の2005年に結成された琴平高校の同好会です。「とらすと」は「信頼」を、Kは「神戸」と「琴平」を表していて、「神戸と琴平を信頼で結びたい」との願いが込められています。

○どんな活動をしているの？

阪神・淡路大震災と東日本大震災で被災した高齢の方々に手紙を送ったり、訪問したりする交流活動を行っています。

○地域ではどんな活動をしているの？

「れんげ祭」や「ふれあいデー」に参加し、ステージで防災クイズをしたり、スタッフとしてお手伝いしたりすることで、地域の皆さんと交流する活動を行っています。被災地の皆さんから、災害に備えてのものだけでなく、人間関係を用意しておくことはとても大切だと教えて頂きました。「人と人とのつながり」があれば、楽しいことはもっと楽しく、苦しいことは力を合わせて乗り越えていきます。

震災の教訓や被災地の現状を伝えるために、広報『ことひら』に「神戸からのメッセージ」というコラムを、年に3回掲載させていただいている。そちらもご覧ください。



黄色いポロシャツの「とらすとK」の生徒を見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね。



地域で活躍する卒業生



はしかた書店
箸方俊昭さん



琴平町役場
吉田和馬さん



南ファミリー劇団
扇子家玉四郎さん

琴高OBとして、日々感じた事を述べさせていただきます。私の家業は本屋で、今年創業91年目を迎え、父も琴高OBでした。又祖父は琴高野球部の初代監督です。仕事で小中高の学校へいっていますが、仕事に一番大切なのは、ガッツと挨拶だとつくづく思います。琴高生の気持ち良い挨拶は、僕の知っている限りでは、No.1です。又地道な町内の清掃活動や行事のお手伝い、たくさんの町民が有り難さを声にしています。琴平の町は金比羅さんで有名ですが、琴平の町に琴平高校ありと、自信をもって活躍し開花することを応援しているOBであり、琴高ファンでもあります。

私は琴平高校の卒業生で、現在は地元の琴平町で仕事をしています。

琴平町で生活をしていると琴平高校の生徒の姿をよく見かけ、その活発な姿は皆さんが思っている以上に地域に活力を与えてくれています。

今を琴平高校で過ごせる時間はとても貴重で限られた時間です。大切なことは目標を持ってその時間を過ごすことだと思います。勉強や部活動、それ以外でもいいので目標について考えてみてください。自分で決めた目標は皆さんのが高校生活を送る糧となり、目標に向かって歩んだプロセスは将来、良き思い出や自信となって自分自身を支えてくれるはずです。

私たち「南ファミリー劇団」は結成して今年で35周年を迎えます。ボランティア活動劇団として結成し地元の老人ホームや障害者施設への慰問公演などを経てその後、プロ劇団となりました。今までに国内外の福祉公演など270回を超すようになりました。私の7人の子供の6名が今までの琴平高校に通っており琴平高校の福祉に対する意識と活動には感謝致しております。琴平高校の基本方針の「地域で学び地域で育つ琴高生」人と人とのふれ合いの中でこそ真実の成長に繋がると思っております。地元・琴平の未来の為にも、人としての成長の為にも志を持って続けて頂きたいと思っております。

南ファミリー劇団

戦後、京阪神で活躍した老舗劇団「劇団 扇子家」の座長・山口英二朗(初代)が香川県を拠点に35年前に家族だけで結成し、劇団員全員が四世代の家族で現在の出演メンバーは17名という大変ユニークで、全国でも珍しい大家族プロ劇団。これまでの数多い公演の中で香川県の代表の一つとして国際博覧会のメインホールにて公演。またロサンゼルス市長とカリフォルニア州政府の招聘により香川県知事のメッセージを携えてロサンゼルス日米劇場にて公演。この時カリフォルニア州政府より世界で10人目、日本人では2人目という栄誉ある感謝状をいただく。また、ハワイ「桜祭り40周年記念」に招待され、その後94年には四国の代表として香川県知事と一緒にオーストラリア公演そして2012年4月にフランス・パリ市主催の日本イベントに四国を代表して出演など海外での公演回数も15回を越え、地域文化振興、国際交流、民間サイドの国際親善大使としても活躍中。



応援メッセージ



琴平町社会福祉協議会 常務理事・事務局長
越智和子さん

琴高生の皆さんへ

先輩達の時代から琴平の地域の様々な場面で活躍してくださっていることにまず感謝申し上げます。先生や学校の行事だからという方もいるでしょう。きっかけや入り口は色々あると思いますがそれよりも大切なことがあります。

琴高生の皆さんお年寄りから子供まで幅広く交流し活動に協力してくれている姿がこの町の中にある事が何より大切です。都会に比べ地方では過疎化や少子化が進み社会全体に将来への不安感があります。琴平の町も例外ではありませんが、この町には琴高生が学校生活だけでなく、いつのまにか風景のように地域の人と共に活動の中にいてくれます。

そしてそれが私たちの勇気と希望を支えてくれています。



琴平町
小野正人 町長

このたび、「琴高ふれあいダイアリー」の発行に際し、心よりお慶び申し上げます。

琴平高校の皆さんは「地域に学び 地域に育つ 琴高生」というスローガンのもと、自主的、自発的にボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、町内外において幅広く社会に参加・貢献されています。皆さんの活動に対し、琴平町を代表して心から感謝と敬意を表しますとともに、この活動・経験は、今後の人生において必ずや大いに役に立つことと確信しています。

今後、琴平高校のますますのご発展と皆様方のご活躍、「住みやすいまち琴平町」の実現を祈念いたしまして、私のメッセージといたします。



琴平南幼稚園
大島久子 園長

琴高生へ

琴平町立南幼稚園児と琴高生の交流が始まり、10年以上になると聞いています。JRの線路を挟んで、隣接しているので歌声や部活動の声がいつも聞こえ、身近に感じています。

園児にとって身近な琴高生と交流することは、地域で大切にされているという思いと共に少子化が進む中、異年齢で交流できる良い機会だと思います。保育実習・運動会のボランティア参加・おにぎりパーティ・文化祭見学等々、これからも大切にしていきたい体験の一つだと考えます。

琴高生が園児を見る眼差し、園児の嬉しそうに手をつなぐ姿などいつもとは違った表情が見られます。これからも積極的に交流を重ねていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。



まんのう町
栗田隆義 町長

頑張れ、「地域で学び、地域で育つ琴高生」

琴高生が地域に飛び出し、地域の行事や、様々なボランティア活動に参加することは非常に有意義であります。

地域での様々な体験を通して働くことの大切さや、やり甲斐を感じると共に社会との人の接し方、礼儀の大切さに気づきます。また、多くの発表の機会を得て地域の方に認められることで自信を得ます。自分たちの故郷の良さを学び、再認識することが出来る大切な活動であります。

故郷のことを常に気遣い、大切にする、故郷の存続発展に関わりをも貢献する、故郷に自分の人生の根っこを深く張って自らも成長する。そんな生き方を皆さんにしてほしいと願います。



琴平町地域おこし協力隊
左から吉田さん、中村さん、山田さん

琴平町には、観光や農業、まちづくりなど、高校生の目線を生かせるチャンスが沢山あると思います。

特に、その場にいるだけでぱっと場が明るくなる高校生のパワーは、町にとって大切な資源です。

もっともっと町やイベントと関わって、町のみんなや観光で訪れる人たちを笑顔にしてほしいと思います!

みんなのこれから活躍に期待つつ、私達も負けないようにがんばります。

一人でも多くの人に琴平を好きになってもらえるよう、協力して発信ていきましょう!



琴平高等学校
山本恵三 校長

琴平高校は、「地域で学び、地域で育つ琴高生」の実現を学校の目標の一つに掲げて、部活動や生徒会活動あるいは授業の一環として、年間を通して様々な機会に、地元の琴平町とまんのう町でボランティア活動や奉仕活動を行っています。「地域で学び、地域で育つ琴高生」という言葉の通り、琴高生は地域での活動によって、地域のみなさんから感謝されることで自信をつけ、地域のみなさんとの交流を通じて成長しています。学校が生徒たちの教育の中心となるべきだということは当然のことなのですが、急速な社会の変化は、生徒たちの生活を激しく変化させ、地域のみなさんの協力なしには、生徒たちを正しく教育していくことが、ますます困難になってきています。

この「琴高ふれあいダイアリー」が、今後、「地域で学び、育つ琴高生」という理念の実現に役立つことを願っています。